

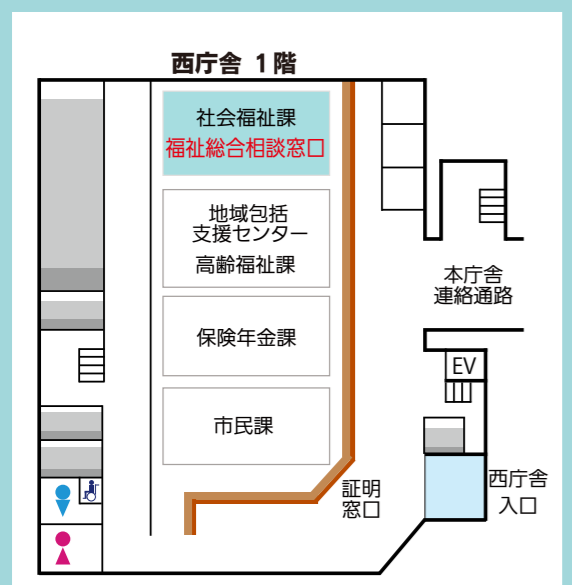
ひとりで悩まないで…… 福祉総合相談窓口にご相談ください

☎ 社会福祉課 ☎ 26-2111 (内線193、西庁舎1階)



- 人間関係がうまくいかない……
- 仕事が続かない……
- 子育てに悩んでいる……
- 配偶者や恋人から暴力を受けている……
- 家族が引きこもっている……

困り事相談
相談はメールでも受け付けています。
相談員からの返信を希望する方は、本文中に名前や住所などを記載してください。



相談窓口を一本化

4月に開設した福祉総合相談窓口では「ひとりで悩まないで」を合言葉に、各種相談を受け付けています。どこに相談したら良いかわからない困り事などは、福祉総合相談窓口にご相談ください。相談内容を確認しながら、関係機関と連携し、解決策を一緒に考えていきます。

本人や家族だけでなく、近所の方や支援者なども相談できます。来庁での相談が難しい方には、訪問での相談にも対応しています。

新型コロナウイルス生活サポート

新型コロナウイルス感染症の影響が、さまざまな分野に広がっています。緊急事態宣言が解除された後も生活の直接的に影響を受けている市民の方々の不安に寄り添う支援をワンストップで行います。

新型コロナウイルスの影響で、次のような悩みを抱えている方は、まず相談ください。

- ・家賃、生活費が足りない
- ・収入や職を失った
- ・家族が仕事に行かず、お酒ばかり飲んでいる など

物知りおじさんのふるさと情報



八王子神社宮司 伊藤 雅弘 さん (明智町)

今月の物知りおじさん

八王子神社と明智光秀

明智町は、明るい開けた土地というのが地名の由来といわれ、明治から大正、昭和にかけて製糸業で栄えた町です。

八王子神社は、949(天曆3)年、京都の八坂神社から神の分身を移した社で、2千石ほどの神社の領地を有していました。その後、鎌倉幕府の命により加藤景廉(景朝)が地頭としてこの地を治め、景廉は遠山の姓を名乗り始めました。戦国時代に入ると、社は武田勢と織田勢のはざままで武田軍によって焼かれてしまいました。関ヶ原の戦いで遠山氏が徳川方に付き活躍したことで、1676(延宝4)年には、社殿を再建することができました。

この再建と同時期に、明智光秀が尊敬していた歌人柿本人麻呂を祭った、人麻呂神社が八王子神社の西側に建立されました。社の鬼瓦には、桔梗紋が付けられている他、近くには光秀が手植えをしたと伝えられるカエデの古木が残っています。これらのことから、人麻呂神社は遠山一族と光秀との深い関わりが推測されます。



▲鬼瓦に桔梗紋が見える人麻呂神社と光秀手植えのカエデ

明智の系図が書かれた『系図纂要』の中に、光秀の父光綱と叔父光安の名前があります。光安は、遠山入道宗叔と書かれており、この人物が明智城主遠山景行入道宗叔と同一人物ではないかと推測されています。

光秀は本能寺の変の後、天海と名前を変えて3代将軍に仕えたという説もあります。天海は、死後「慈眼大師」といわれていますが、実は光秀の座像と位牌のある寺は「慈眼寺」です。また、天海は日光東照宮造営にも関わりがあり、日光には明智平の地名があることや、陽明門にも桔梗紋を残していることから、天海と光秀の謎めいたつながりを感じます。

今月の表紙

短い夏休みの貴重なカヌー体験

新型コロナウイルスの影響で短い夏休みとなった今年。短くても充実した夏を過ごしてもらうため、8月8日から16日までの間、さまざまな催しを開催しました。

8月9日、串原の奥矢作レクリエーションセンターでは、市内の親子を対象に無料のカヌー体験を開催。家族4人で参加した小学3年生の加藤琴音さんは「初めてカヌーに乗ったけど、1回こぐだけでスイスイ進んで楽しかった」と笑顔を見せました。

数字で見る恵那市

人口(8月1日現在)

総数	49,415人	(-54)
男	24,095人	(-30)
女	25,320人	(-24)
世帯	19,908世帯	(-20)

()内は前月との比較

人口動態(7月異動)

出生	16人	
死亡	55人	(-39人)
1月からの自然増減	-212人	
転入	75人	
転出	90人	(-15人)
1月からの社会増減	-194人	

救急車出動回数(7月)

183回	(1,308回)
------	----------

()内は1月からの累計

交通事故(7月)

人身事故	1件	(27件)
物損事故	100件	(615件)
負傷者	1人	(29人)
死者	0人	(0人)

()内は1月からの累計

火災(7月)

建物	0件	(7件)
その他	0件	(6件)

()内は1月からの累計

広報えな 9月号 目次

- 03 特集 ひとりで悩まないで福祉総合相談に相談を
- 06 特集 市の人事行政の運営状況を公表
- 08 注目情報
 - ・国勢調査オンライン回答
 - ・笠置町で高齢者移動支援
 - ・令和3年度こども園などの入園受け付けを開始
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板
- 17 おくやみ・県のお知らせ
- 18 健康ガイド
- 19 相談コーナー
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
 - ビジネスサポートセンター
 - 健幸レシビ
- 23 恵那中央出張所えなえーる
- 24 出生・1歳になりました園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 27 いいね! 恵那市公式SNS
- 28 えな笠置山楽園10周年記念大収穫祭

「ひとりじゃない」を実感できる

私たちと一緒に考えましょう

「じいの相談」

生きていくことは平坦な道ばかりではありません。もう二度と立ち上がれない……、出口なんてない……そんなことを考えていませんか？
一人で悩まずにあなたの話を聞かせてください。私たちと一緒に、立ち上がる力を蓄え、見えない出口と一緒に探しましょう。

福祉総合相談窓口では、市職員が話を伺うだけではなく、社会福祉士の資格を持つ「こころの相談員」も相談に乗ります。つらいことがあれば、まずは相談ください。



▲メールでも相談を受け付けています

依存症は病気です

依存症とは、特定の物質使用や行為を繰り返すことで、それが身体的や精神的にならなくてはならない状態になる病気です。自分ではコントロールができなくなった結果、家族との争いが増える、生活リズムが崩れる、お金を使い過ぎるなどの問題が生じる恐れがあります。

他にもある支援

福祉総合相談窓口だけで解決しない問題は、関係機関と連携して解決につなげていきます。関係機関には働くことを希望している方を応援する「県若者サポートステーション」の他、引きこもりの方の居場所を提供する「地域生活支援拠点ぷらっと」や「にじいろパレット」があり、これ以降で紹介されます。

東濃東部断酒会

☎ 54-2529

毎週2回例会を開催し、本人や家族の体験談を語り合っています。

▶毎週水曜日 午後7時半～9時 恵那市民会館

▶毎週土曜日 午後7時半～9時 市文化センター

アルコール依存症になると、本人の意思や家族の注意でお酒をやめることは難しく、治療が必要になります。まずは、周りの方が福祉総合相談窓口や断酒会に相談ください。アルコールに限らず、薬物やギャンブル、インターネット、ゲーム、性行為、買い物、窃盗なども依存対象となり得ます。福祉総合相談窓口へ相談し適切なサポートの仕方を知ることから始めましょう。

あなたの働きたいを応援 県若者サポートステーション

☎ 058-216-0125

あなたの働きたいを応援

毎月第1・3・5火曜日に山岡振興事務所と市役所西庁舎1階で出張相談を開催中。詳しくは本紙19ページをご覧ください。※予約の際は、広報えなを見た伝えてください

臨床心理士

ひよし 山田日吉 さん

2級キャリアコンサルティング技能士

ゆきえ 平田幸恵 さん



県若者サポートステーションとは、仕事をしていない方の社会的・職業的自立を支援するための総合相談窓口です。働くことに対し、さまざまな悩みを抱えている15歳から49歳までの方が就労に向かえるよう、多様なプログラムで支援しています。

二つの相談のカタチ

キャリアコンサルタントや臨床心理士などが、一人一人に寄り添って支援します。
キャリアコンサルティング
本人の状態や状況に合わせ、就労への最適な計画作りを支援します。

メンタルカウンセリング
心の悩みや不安を取り除き心の元気づくりを支援します。
就職氷河期世代への支援
40から49歳までは、就職氷河期世代といわれています。その世代に近年増え続けている非正規雇用や介護による離職、長期無業状態の方など、一人では難しい就職活動を支援していきます。
この他、さまざまなサークル活動やセミナーなどを実施しています。詳しい内容については、気軽に問い合わせください。

あなたの居場所が、きっと見つかる 地域生活支援拠点「ぷらっと」



☎ 26-5221 (市社会福祉協議会)

大井町727番地11(市福祉センター内)
利用は午前9時～午後4時まで
※土・日曜日、祝日と年末年始を除く



▲「ぷらっと」は落ち着いた雰囲気であらゆる利用ができます。見学や利用を希望する方は事前に相談ください

地域生活支援拠点「ぷらっと」では、障がいのある方や引きこもりの方に対して、地域で安心して暮らしていくための居場所や活動の場を提供し、自立した日常生活と社会生活を営むことができるよう支援しています。

主な役割

- ・気軽に集える場所の提供
- ・日常生活における各種相談 (専門機関の紹介・予約などの支援)
- ・サロン活動やイベント活動など、地域生活に必要なと思われる経験や社会参加の提供

利用できる方

市内在住で障がいのある方や精神的に不調の方、引きこもりの方など、地域生活支援が必要な方やその家族

食事の勉強会

管理栄養士から、食の大切さについて一緒に考え、アドバイスしてもらいます。スイーツ作りなどのクッキング講座も開催しています。



花壇の手入れ

社会に出るきっかけづくりとして、市役所前に設置してある4カ所の花壇を月に2回ほど手入れしています。



ゆっくり・のんびり・安心して にじいろパレット

☎ 090-5624-5791 (代表・森)

毎週金曜日の午後1時から4時まで市共同福祉会館で居場所を提供



◀にじいろパレットスタッフNのブログ

にじいろパレット 代表 ともこ 森智子 さん



にじいろパレットは、不登校の児童生徒や引きこもりの若者が、ゆっくり・のんびり・安心して過ごせる居場所を提供している他、定期的に催しも開催しています。
スタッフは、学校カウンセラーや心理検査士、準臨床療法士、元養護教諭、不登校の子を持つ親など、さまざまな問題乗り越えてきたベテランぞろいです。

心のつながり

毎週金曜日の午後1時から4時まで、市共同福祉会館2階で定期的に居場所を提供しています。ここでは、利用者のニーズに合わせて、話を聞いたり、お茶を飲んだり、ゲームをしたりしながら利用者の心に寄り添います。

こじパレ親の会

奇数月の第3土曜日、不登校や引きこもりの子を抱える親同士で語り合う親の会を開催しています。子どもの困り感や関わり方、支援に関する情報を共有できます。

こじパレかふえ

偶数月の第3土曜日、利用者本人の他、その家族や関係者など、自由に過ごすことができる居場所を提供しています。

にじいろパレットの活動内容など、詳しい情報は「にじいろパレットスタッフNのブログ」で確認できます。